

表紙のことは

齋藤正司「桜咲く」

桜の花は枝から咲くばかりか
ボンッと幹からも咲く。
咲きははじめの色は（ピンク）
散り際は（パールホワイト）
幹は思っているより濃い（チャコールグレー）
意外なのは（薔薇）（苺）の親戚。
昔の人はお互い1年の無事を祝い、
花見をしたそうだ。何もなかった。
山のあちらこちらに桜を見つけると、
何だか得をした気分になれる。
ひとつをつなぐ、よろこびをつなぐ。
桜が咲いたのでおめでとう。



今月の作品

本コーナーでは、表紙にご応募いただいた作品の中から毎月1点をご紹介します。



松原 栞「鶴（つる）し桜」

私には発達障害があり、B型の就労移行支援事業所に通所しながら、2019年2月から、外来作業療法を隔週で受けています。

作業療法の時間の中で、ものづくりをしていると、すごく楽しいです。今年はコロナ禍で、お花見ができないので、「鶴（つる）し桜」をつくりました。この桜をみてくれた人が、少しでも心がほっとし、癒されることを願っています。桜は、先を淡く薄く、幹の近くは、濃く力強く表現したいと思いました。私も力強く、優しく生きたいです。（代筆・担当 OT：片上麻美）